

ボランティア クラブ

ボランティア
活動センター
こくぶんじ

2016 winter vol.151

謹賀
新年

旧年中は大変お世話になりました
本年もよろしくお願ひ申し上げます
ボランティア活動センターこくぶんじ職員一同

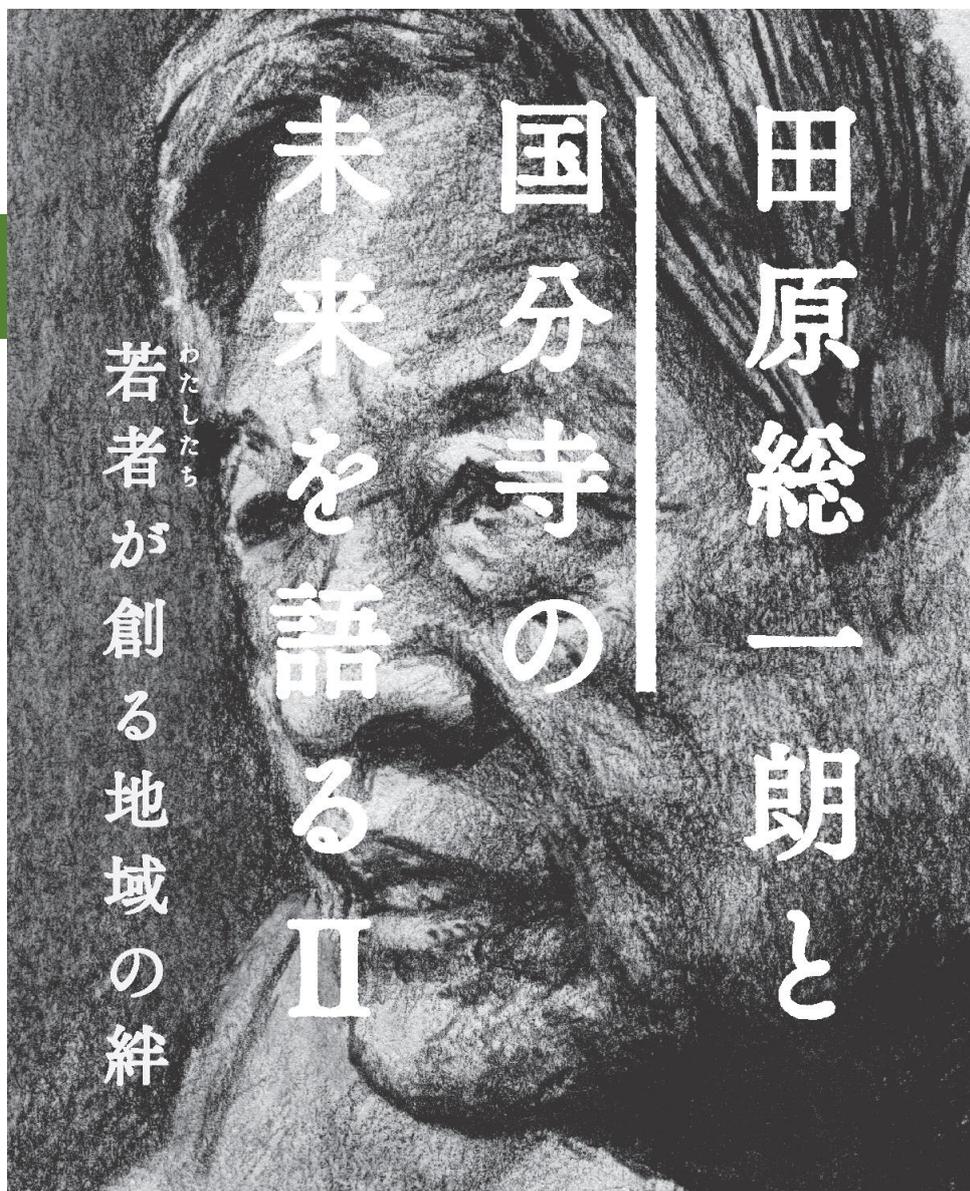
P2~3

スピノフ企画
~その④ムタヒロ~

- P4 国分寺の未来を語るⅡのみどころ
- P5 潜入レポート
- P6 うえるかむ！ボランティア！
- P7 登録団体ガイド
- P8 イベント情報

日時：平成28年2月21日（日）
14時～16時（開場13:00～）
会場：早稲田大学系属早稲田実業学校
小室哲哉記念ホール
定員：400名
参加費：無料
申込方法：1/4（月）より専用フォーム
にて先行申込開始！

詳しくは、
Webでご覧下さい！



市内の中高生が熱いトークバトルを繰り広げます！

日時：平成28年2月21日（日）14:00～16:00（開場13:00～）

会場：早稲田大学系属早稲田実業学校 小室哲哉記念ホール

参加費：無料 定員：400名（事前申込制、詳しくはWebをご覧ください。）

問い合わせ：ボランティア活動センターこくぶんじ Tel 042-300-6363 ※手話通訳あり

こくぶんじ ボラセン 検索



ボランティア活動センター
こくぶんじ

ポスターデザイン：筑波大学 商業デザイン学科 大木謙之介

スピノフ企画『国分寺の未来を語る！』

～その④ ムタヒロ～

株式会社 GREAT SMILE

代表取締役 ^{むた} 牟田 ^{しんご} 伸吾さん・取締役 ^{あらい} 新井 ^{ひろみち} 博道さん

インタビュアー

ボランティア活動センターこくぶんじ
センター長 北邑 和弘

昨年2月に田原総一郎さんを招いて行われたシンポジウムでは、ラーメンと地域とのつながりについてお話ししてくださったムタヒロさん。今回はその時登壇して言い足りなかったことを、もっと詳しく伺いました。

北邑 田原さんの印象はどうでした？

ムタヒロ 元気でパワフルな印象ですね。

北邑 実は、今年度も田原総一郎さんをお招きするんです。

ムタヒロ マジっすか！

北邑 昨年は、市内の中高生と地域で活動する大人の方々に登壇いただきましたが、今回は中高生を中心に実施する予定です。昨年、ご登壇いただきましたが、アンケートの回答にも「ムタヒロをパネラーに呼んだとは、お目が高いですね。」とありました。何か反響はありましたか？

ムタヒロ 「田原さんに会ったよ」「えー」みたいな（笑）。ご年配の方が多く、真剣に聞いている方が多かったで

すね。

北邑 今回は、ぜひ若い人にもたくさん来ていただけたらと思っています。ところで、昨年ご登壇いただいた際、田原さんから「なんで国分寺なの？」と言われていましたが、国分寺を選んだ理由や魅力、商売を展開しての感想を改めてお願いします。

ムタヒロ 国分寺駅は、思った以上に乗り降りが多く、たまたま条件が合ったのが選んだ理由ですが、今まで、降りたこともなかったし、はっきり言えば縁がなく、職場までの通過する駅の1つでしかなかったし、他にも荻窪なども探してはいたんですけどね。食べ歩きしている中で、駅ごとに顔となるラーメン屋さんが出てくるんですけど、国分寺といえば…と

いうラーメン屋が思い浮かばなかったし、知らなかったです。国分寺の名物のラーメン屋さんになれればという思いでスタートしました。店舗の前も四六時中人通りがあるわけでもないので、しっかりと土台作りをし、その日に来てくれた方に感謝して、その次もまた何回も来てくれるような営業をしたかったので、丁度よくそんなせかせかせずにできるところも、僕らが決めた理由のひとつなんです。急いで『おいっ！早く洗えよ』みたいなのではなく、落ち着いてお客さんと向き合えるような、ちょっとゆっくりとした時間が過ぎていく感じがいいなと思っています。

北邑 開店当時、お二人が1号店に立っている時によく行かせていただき

ラーメンワークショップ
近日開催予定！?
ブログでお知らせします！



ました。『いつも来てくれてありがとうございます』と言ってくれたことが、とても嬉しくその笑顔が印象に残っています。

ムタヒロ 作っている時は、こんな顔してますけど(笑)。でも、僕がラーメンをしっかり作って、ヒロさんがお客さんをしっかり見て、お互い役割分担をはっきりさせていったのでこういうスタイルができたんだと思います。

北邑 1号店は中華そば(煮干し)、2号店は鶏そば、3号店はまぜそば、4号店は串揚げ、5号店は大阪店、6号店は味噌中華そば、そして、韓国にも出店を予定しているそうですね。

ムタヒロ 韓国はお店もできて、ちょこちょこテスト営業はしているんですけど。

北邑 以前お話をさせていただいた際、立川と言えば「〇〇ラーメン」、荻窪と言えば「〇〇ラーメン」とイメージするお店があると思います。今や、国分寺と言えば「ムタヒロ」というのが定着してきていますよね。

ムタヒロ いやいや(照)

北邑 店によって雰囲気づくりのコンセプトなどあるんですか？

ムタヒロ そうですね。コンセプトをしっかり作って、味噌だったらポップの色をシックにしたり、ロゴも店によって微妙に変えたりと、お店のカラー

をしっかりと持ち味としてできるようにしています。まぜそばは若者向けなので、明るめのポップな感じにしている、ショップのカラーを少しずつ変えているんですよ。お店ごとのカラーでそこにくるお客さんに楽しんでもらいたければと。

北邑 国分寺ならではの良さ、魅力はどこにありますか？

ムタヒロ うちの嫁の母も以前池袋でお店をやっていた、その母が今お店を手伝ってくれてるんですが、「みんな礼儀正しくて、お客さんも『ごちそうさま』『いただきます』と言ってくださるし、良い人がすごく多い。店に来る学生もすごく穏やかで、気持ちに余裕があるように見えます」と言っていました。新宿とかよりもゆっくりとした時間で食事している感じがあってすごく良いし、いい意味で「大人な街」って感じがしますね。

北邑 今後は、更なる事業拡大など新たな取り組みはありますか？企業秘密かと思いますが...

ムタヒロ そうですね。国分寺で始めて、これだけ応援していただいて今の規模になっているので、恩返しするのは地域のみなさんだし、もっといろいろな美味しさを追求するのもぼくら

の仕事だと思っています。それを感じてもらおうのも、まずは国分寺のみなさんだと思うので、西国分寺に出して、国立にもと考えています。近くで周る楽しさや街の楽しさも感じてもらうこともひとつですが、お店以外にも地域に関わるものを形にしていきたいと思っています。

北邑 そのところで、ボランティア活動センターも一緒に関わったら嬉しいなと思っています。ラーメンのワークショップなんてどうでしょう？

ムタヒロ そうですね。なかなか食べに行けない人もいると思うので、こういう風にはできるかな...

北邑 ボランティア活動センターには、既に行動している人も多く、また「何か行動しよう！」と考えている人が多く来所します。一方、何かをやりたい気持ちはあるけれど一歩踏み出せない人も多いのが現状です。その一歩を後押しできるような「ワークショップ」を考えたいと思うので、ぜひムタヒロさんご協力いただけたらと思っています。

ムタヒロ そうですね。ぜひやりましょう！

北邑 本日は、お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

(文中、敬称略)



ムタさん

ヒロさん

1号店 国分寺南口本店



4号店 本店となり



2号店 国分寺北口



5号店 大阪福島店



3号店 国分寺北口



6号店 西国分寺駅前





北邑 第一回目の『田原総一郎と国分寺の未来を語る！』は、ボランティア活動センターこくぶんじ（以下、ボラセン）が初めての試みとして開催した大きなイベントでした。国分寺からは大人から子どもまで幅広い方々が参加し、また田原総一郎さんにお越しいただくことができました。お二人は運営に携わられて、いかがでしたか？

本多 街で活躍している方、未来を担う中高生、そして田原さん、と、三部構成にしてもいいくらいのボリュームでしたね。

北邑 初めてだったので、盛り込みすぎたという点はあるかもしれませんが、とはいえ、多くの方々のご協力もあり、400名近い方に集まっていただけました。今回の目的の一つとして、ボラセンをよく知ってもらおうということがあったのですが、それは達成できたのかな、と思います。

【第二回の開催に向けて】

北邑 間もなく、シンポジウムの第二回目を迎えることになります。

輿石 今年も田原さんにご協力いただけるようですね。

北邑 そうなんです。また、今年は中高生からの登壇申し込みがすでにたくさん来ています！（2015年12月上旬時点）

本多・輿石 おおーっ！（パチパチパチ）

輿石 学校主催ではない所で、子どもたちが大人に対してプレゼンテーションをする機会がある、というのが良いですね。

北邑 今年は第一部で、中高生の意見のとりまとめ役として、大学生が活躍します。第二部では枝見さんと田原さんに、第一部で出た意見も踏まえて「国分寺の未来」についてお話ししていただきます。最後には第一部の子どもたちも巻き込んで、皆で考えることができればいいな、と思っています。

輿石 去年は、学生の意見の中に、街のことを「自分ごと」として捉えていないようなものもあったように思いました。

本多 （街に対する期待という）サービスを受ける立場としての意見になってしまう傾向はありますよね。国分寺は便利ですから、人と関わらなくても用が済んでしまいますし。これは、“自ら動く”という、ボランティアの精神とは逆の発想です。今回のイベントでは、人と関わられる人を育てる、という視点も大切ですね。

【双方向の幅広い関係をつくり、自ら動いていくという人が増えれば】

北邑 ボラセンでも、「今回はボランティアを受ける側であっても、時には提供する側にもなる」といった、双方向の関係で参加してもらおうということを常に念頭においています。そういった視点を持った子どもたちが増えれば、未来は明るいですね。

本多 そうですね。国分寺って、便利だけど、お店やコミュニティを中心に、なじみの関係を作るような装置もほどよくあるんですよ。子どもが集まるいくつかの施設でも、何学年にもまたがるような、縦割りの関係ができてきています。こうしたものも広がっていけばよいと思っています。

輿石 そうですね。子どもたちからも、街のアイデアを自由に出してほしい。大学生の皆さんも、もっともっと「自分たちから」という積極性を出してもらえるといいですね。

北邑 「自分から」は重要なポイントです。「やらされている」では意味がありませんから。学生との連携についてもきちんと考えていく必要があります。なぜ学生と共にやるのか？を常に考えていないと、学生の側もやらされているという気持ちが出てしまい、ボランティアに対する見方もそのようになってしまいます。

本多 やる気が十分にある子は積極的にやるし、ない子はなかなか難しい。その中間の、やる気があるけれど動くには至らない、という子に、どうやって一歩を踏み出してもらおうか。

輿石 大人にも言えることですね。これは、福祉全体に繋がる話です。

北邑 そうですね。今回のシンポジウムでも多くの方に参加、ご来場いただいて、皆で街を、福祉を考えるきっかけになればと思います。

輿石 今後は、より一層いろいろな仕掛けを作っていくてほしいです。

北邑 ボランティアが、特別なものではなく、生活の中で自然に入っていけるようなものになれば。そうした情報を常に流し、きっかけを提供できるようなことをしていきたいと思っています。

輿石 メディアを使うのも有効ですね。ラジオとか！？（一同盛り上がる）そちらも考えつつ、シンポジウムは是非続けていってほしいと思います。中高生が参加できる機会はすばらしいと思います。

北邑 がんばりましょう！ 本日は、ありがとうございました。

（文中、敬称略）

潜入レポート



～合同・団体交流会～

今回は『ボランティア活動センターこくぶんじ』と『こくぶんじ市民活動センター』の共同企画による登録団体の交流会の様子をレポートします。

今年もあと2週間という12月17日(木)の午後、国分寺駅ビルのLホールにはおよそ20団体、30名弱の方たちが集まりました。

参加者の名札は貼られたシールの色によってその活動ジャンルが判るように工夫されていました。因みにそのジャンルは「健康・医療・福祉の増進」「学術・文化・芸術・スポーツ」「地域活動」「市民活動支援」「子どもの健全育成」「環境の保全」「まちづくり」と分類されていました。

交流会は第1部：講義、第2部：参加者間の情報交換とPRという2部構成で進行しました。

第1部

講義：「学生と地域コミュニティ」

一橋大学大学院社会学研究科 林大樹教授

一橋大学「まちづくり」授業の経験

教室を飛び出して地元国立市で空き店舗を活用して地域活動拠点を開設してNPOを立ち上げたり、コミュニティービジネス起業講座を開講したりといった生きた授業を続けていることなどを紹介していただきました。

「まちづくり」の授業からコミュニティ・プロデューサーを、コミュニティービジネス起業講座から社会企業家の育成を目指しています。

モットーは「まちづくり=ひとづくり」「たんけん、はっけん、ほっとけん」(キャッチコピーを作るのが上手ですね)

先生の紹介された実践語録「悪者になる勇氣」「時には叱られ役も引き受ける」「(話がこじれる前に)素早く先回り」「酒瓶みやげにコミュニケーション」などなど(おっと最後の「酒瓶・・・」、先生は日本酒が大好きだという先生の得意とするところのような・・・)



第2部 交流タイム



4つのテーブルに分かれた参加者はファシリテーター(ボラセンと市民活動センターのスタッフ)のガイドで自己紹介、今熱中していることや趣味、そして現在の活動について紹介しあい、15分ごとにテーブルチェンジタイムを繰り返してできるだけ大勢の人と情報交換です。お茶とお菓子でリラックスして・・・

私は取材ということでテーブルの間を歩き回っていましたが、どのテーブルも話が盛り上げていて一度ならず立ち止まって耳を傾けてしまいました。情報交換というちょっと固いイメージですが、まずは好きなことを話してくださいという軽い感じがリラックスしたコミュニケーションの秘訣かもしれません。



最後はビンゴゲームで盛り上がりました。数字の代わりに参加者の名前を使っているので、ゲームをしながら自然に参加者の顔と名前を憶えられるという上手な仕掛けでした。

記者雑感

これまで何度か取材しましたが男性参加者の数が半数以上というのは初めての経験でした。また交流会の盛り上がりも最高でした。同じ活動ジャンルの仲間と特定のテーマや共通の課題についての会合はよくありますが、交流そのものがテーマという今回のイベントはある意味ではコミュニケーションの原点ですね。台本がないから思わぬ展開や結果が待っている。

今回が初めての試みだったとのことですが、きっとこれから第二回第三回と続くのではないのでしょうか。できればこれからボランティアや市民活動をしてみたいなという人たちも参加できるような仕組みを考えられたらもっと面白いかもしれませんね。(S)

*** 地域交流会ボランティア**

「地域交流会」では、ひとり暮らし高齢者等を対象に、市内10地区で交流会（季節行事、茶話会、会食会、異世代交流等）を開催しています。
ボランティアとして一緒に楽しいひと時を過ごしませんか？人生の先輩から、お料理の事や生活の工夫など学べる事が盛りだくさん♪まずはお問い合わせください。



*** お泊りボランティア【女性限定】**

脳性マヒのハンディをもつ女性（60代）の生活をサポートしてくれるボランティアを募集しています。

◆日時：都合良い曜日 21:00～翌 8:00 ◆場所：内藤 2 丁目の個人宅

◆内容：話し相手、トイレ介助、着替えの手伝い、洗濯

◆備考：夕食・夜食・朝食の提供可。入浴も可。ネコを 1 匹飼っています。

交通費・小遣い程度の謝礼あり。初めのうちはベテランボランティアがサポートします。



*** 書道指導のボランティア**

高齢者施設でご利用者様に書道を教えてくださるボランティアを募集しています。

◆場所：介護老人保健施設すこやか（4階）・デイサービスふれあい（1階）

いずれも国分寺市泉町 2-3-8 いずみプラザ内

◆日時：すこやか⇒13:30～14:30・ふれあい⇒13:50～14:50 ◆対象：利用者 10名くらい



平成 28 年度「ここねっと推進助成事業（前期分）」のご案内

「ここねっと推進助成事業」は、国分寺市の地域福祉を推進する事業に対し、「平成 27 年度 歳末たすけあい・地域福祉活動募金」を財源に、社会福祉協議会が行う助成です。
平成 28 年度は前期・後期の 2 回に分けて助成の申請を受け付けます。年間通して事業を実施する団体や、4 月～9 月の間に実施するイベント等については、前期分にて申請をお願いいたします。まずは下記の説明会に必ずご参加ください。なお、立ち上げ費については年度内に随時受け付けますので、ご相談ください。

■ 対象団体

国分寺市内に所在し、国分寺市内で地域福祉活動を行っており、ボランティア活動センターこくぶんじの登録団体であること。団体登録については別途お問い合わせください。

■ 対象区分 ※申請は 1 団体 1 件のみ。

助成区分	上限額	自主財源	対象事業
日常活動費	5 万円	法人：1/2 その他：1/4	年間を通して日常的に実施する事業 (サロン活動、広報活動、調査・研究活動 等)
イベント費	5 万円		1 回もしくは数回（連続性のあるもの）で完結するイベント（お祭り、交流会、講演会 等）
立ち上げ費	3 万円	なし	団体立ち上げ 1 年未満の団体が、運営に必要とする費用

■ 事前説明会

日時	会場
2 月 15 日（月） 10:00～11:00	ボランティア活動センターこくぶんじ
2 月 18 日（木） 14:00～15:00	福祉センター 第 2 会議室
2 月 20 日（土） 14:00～15:00	ボランティア活動センターこくぶんじ
2 月 23 日（火） 10:00～11:00	福祉センター 視聴覚室

※ 準備の都合上、前日までにボランティア活動センターに電話にてご予約ください。

■ 申請受付期間 ※各日時間予約制

3 月 13 日（月）～26 日（土）午前 9 時～正午、午後 1 時～5 時（日曜・祝日除く）

※ 受付場所はボランティア活動センターこくぶんじ（東元町 3-17-2）。

※ 提出書類の確認とヒアリングに 1 時間ほどかかります。

■ お問い合わせ

ボランティア活動センターこくぶんじ（担当：泉・有馬）

ボランティア活動センターこくぶんじ 登録団体ガイド

Vol.51

いきいきリハビリ月の会

代表：鈴木 照子

ラジオで「リハビリは若い時の体に戻すのではなく、動かすのが難しくなった体を、自分の生活の範囲を拡げる手助けをするのが目的」と言っていました。まさに講師の指導がこれだ！と気付きました。なぜ、どうして、この手や足等を何のために動かすのかを脳に知らせ、脳から体に伝達する。完全に指示通りに出来なくても、説明を理解して、プラス面を引き出してゆくことが素晴らしいのだと思います。毎回 70 分ほどのリハビリの前後と途中の休憩時にビッグニュースや暮らしの知恵を披露しあったり、なごやかに過ごしています。月曜日以外のリハビリの無い日は少しずつ出来ることをする。膝の調子が思うようでなかった人も、筋力が鍛えられたお陰で歩くのが無理なくなったそうです。ぜひお仲間になって楽しい人生を！

活動日：第 4 週を除く月曜日 13:30~14:30
場 所：いきいきセンター（泉町 2-6-36 トミンハイム 1 階）
月会費：1,700 円
連絡先：042-321-0640（鈴木）



Vol.52

国分寺きずな塾

代表：川上 万里奈

不登校や経済的な理由などによって十分に学校に通えなかった経験のある方を対象に、無料で学習塾を開いています。私たちスタッフの中には実際に不登校を経験した人や、高卒認定試験を取得して大学に通った方も沢山在籍しています。今度は自分が誰かを手助けしたい！そんなスタッフの強い思いによって完全に無料の塾が実現しています。社会人になってから学び直しをするというのはとってもハードルが高く感じられるかもしれませんが、ぜひ一人で悩まずに、まずは一度ご相談ください。私たちの理念は「10年後の自分を笑顔にすること」です。10年後に叶えたい夢を、きずな塾で一緒に追いかけてみませんか。

日時：毎週土曜日 14:00~17:00
（休みの場合あり、事前にご確認ください）

場所：ボランティア活動センターこくぶんじ

活動内容：学習支援

お問い合わせ：kizunazyuku.info@gmail.com

ホームページ：http://kizunazyuku.jimdo.com/

Facebook: https://www.facebook.com/kizunazyuku/

ブログ：http://ameblo.jp/kizunazyuku/



お 知 ら せ

自治会・町内会連絡会&ボランティア講座タイアップ企画

高齢者の見守り講座

高齢化が急速に進む中、行政の支援だけでなく、住民同士がさりげなく気遣い合い、助け合える地域づくりが求められています。地域力で支え、異変に早期に気付く仕組みとして「見守り」が注目されています。見守り活動のポイントや実際の取り組み、理解を一緒に深めましょう！

□日時 2月13日(土) 10:30~16:00 □会場 国分寺Lホール

□内容 午前の部 10:30~12:00 (受付 10:00~)

講演『高齢者の見守りネットワークのしくみとは』 講師 小林良二氏(東洋大学社会学部教授)

午後の部 13:00~16:00 (受付 12:45~)

1. ボランティアの基礎理解 講師: ボランティア活動センター職員
2. ボランティア活動者の活動談 ゲストスピーカー: ボランティア活動者
3. 認知症の理解 講師: 小野季世子氏(NPO 法人すまいる)
4. 情報提供

□定員 100名(先着申し込み制)原則として終日参加できる方。

□申込み 1/12(火)より電話でボランティア活動センターへ

編集後記

*ボランティア活動をはじめてボラセンのスタッフの皆さんを始め大勢の方と知り合えて楽しい3年間でした。これからもどんな方たちと知り合えるか楽しみです。(しんちゃん)

*暖冬と聞きながらも、寒さで体がコチコチ。今年は心も身体も柔らかく、をモットーにがんばります!T・A

ご意見お聞かせください

ボランティアクラブをお読みいただきありがとうございます。今後の企画・編集の参考のために、ご意見・ご感想などお寄せください。毎号抽選で5名の方に記念品を進呈いたします。当選者は発送をもってお知らせいたします。

<http://www.ko-shakyo.or.jp/enquete.htm>

↑↑こちらまでアクセスしてください。



まごころくんエコバック!
コンパクトに持ち運べて、
たくさん入る内容量♪

発行: 社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会/ボランティア活動センターこくぶんじ

〒185-0022 国分寺市東元町 3-17-2

開設日: 月曜~土曜日(日曜、祝日休館)、9:00~17:00

TEL: 042-300-6363 / FAX: 042-300-6365

◆HP <http://www.ko-shakyo.or.jp/vc/>

◆Twitter @kokubunji_vc

◆ブログ <http://blog.canpan.info/kokubunjivc/>

◆E-mail center@ko-shakyo.or.jp